


新型コロナに関する差別から子どもを守る3つの宣言 (幼稚園協会からのお願い)

私たちさいたま市内の幼稚園・こども園は、新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守るために様々な対策を講じてまいりました。しかし、全国的には感染者は増加の一途をたどっており、今後はいつ誰が感染しても不思議ではない状況になっています。

そこで、新型コロナウイルス感染症の差別から子どもたちや地域の皆さんを守るために、さいたま市私立幼稚園協会では「新型コロナに関する差別から子どもを守る3つの宣言」をいたします。



子どもを守るのは
私たち大人の
役目です

1. 新型コロナの感染者に優しく接します

誰でも目に見えないウイルスは怖いものです。しかし、新型コロナのほとんどの感染者は仕事や生活の中で知らず知らずのうちに感染しており、誰もが感染者になりうるこの状況下では感染したことに責任はなく、むしろ守られなければならない存在です。

万が一、近くの人が感染者になったとしてもやさしく接し、「大事にしてください」「早くよくなるといいですね」などの優しい言葉をかけてあげてください。感染者に対する誹謗・中傷・差別などは絶対にしないでください。

2. 医療・介護従事者への感謝を忘れません

医療や介護など、人と接する最前線で新型コロナと闘っている方々への感謝を、私たちは忘れません。感謝と尊敬の念をもって「ありがとう」の言葉を送ります。医療・介護従事者に対する誹謗・中傷・差別などは絶対にしないでください。

3. まずは大人から始めましょう

子は親の鏡です。認めてあげれば子どもは自分が好きになります。分かち合うことを教えれば子どもは思いやりを学びます。優しく、思いやりをもって育てれば子どもは優しい子に育ちます。

まずは私たち大人が、新型コロナの感染者や医療介護に従事する方々に思いやりをもって接し、子どもたちに手本を示しましょう。優しさや思いやりにあふれた、あたたかい地域づくりにご協力ください。